

7番	朝井 賢次 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
<p>1 市制施行100周年記念事業について</p> <p>【質問趣旨】 本市は昭和4年(1929年)の市制施行以来、先人たちの絶え間ない努力と、豊かな「ものづくり」の伝統に支えられ、歴史を積み重ね、約3年後に市制施行100周年という大きな節目を迎える。この100周年という契機は、本市のこれまでの歩みを振り返るだけでなく、急激な人口減少や少子高齢化、デジタル化への対応といった現代の大きな課題に対し、次の100年の瀬戸市をどう描くかという、次期瀬戸市将来計画の将来像実現の第一歩となる大切な年と考える。そこで3年後に迫った100周年記念事業の基本理念の形成プロセス及び事業の精査や行政手続きを確認するとともに、市民・企業・行政が一丸となる持続可能な街づくりにどのように繋げていくのか現状を伺う。</p>	<p>(1) 100周年記念事業の基本理念と方向性について</p> <p>(2) 行政手続きについて</p>	<p>① 100周年記念事業の基本理念は全市民及び関係者全てが、理解、共有していく必要があると考える。本事業の基本理念をどのように形成していくのか伺う。</p> <p>② 基本理念の形成には「今やっていること」から考えるのではなく、次の100年に向けて本市がどうあるべきかという、次期瀬戸市将来計画の将来像から考える必要がある。将来像実現のため、100周年記念事業をどう関連づけるのか伺う。</p> <p>③ 100周年記念事業を契機とする、本市のこれまでの歩みの振り返りでは、歴史の継承と革新である「陶磁器をはじめとする伝統産業や先人が築いた歴史」を単に懐かしむのではなく、どのように次世代へアップデートしていくのかという視点が重要と考えるが見解を伺う。</p> <p>④ 100周年記念事業の基本理念を全市民と共有していくならば、市民一人ひとりが「これは私たちの未来に向けての節目だ」と感じられるような、キーワードの抽出段階から、市民を巻き込む必要があると考えるが見解を伺う。</p> <p>① 基本理念を確立し、具体的な事業計画として予算化するまでには庁内の体制整備や一連の行政手続きを段階的に踏んでいく必要がある。事業の目的、組織体制、権限等を定めた「瀬戸市制施行100周年記念事業実施計画」の策定が必要と考えるが見解を伺う。</p> <p>② 事業に客観性と多様性を取り入れるため、計画検討段階から、産官学金から構成された「瀬戸市制施行100周年記念事業実行委員会」を設置し、各方面から発信や機運を醸成をしていただくことで、より多くの市民参画が図られるのではと考えるが見解を伺う。</p> <p>③ 基本理念や計画の方向性の素案ができた段階でパブリックコメント等を行っていくのか伺う。</p>

備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

7 番	朝井 賢次 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
	<p>(3) 事業規模とそれにもなう予算規模について</p> <p>(4) 準備段階の今後の協議について</p>	<p>① 2009年に本市は市制施行80周年記念事業を行ったが、やはり100周年というのは特別な節目であると考えて。80周年と比べ、事業規模はどの様なものと目論んでいるのか伺う。</p> <p>② 構想や夢を募ったり描いたりするのは大切なことであるが、物価高騰や社会保障費の増大など財政的にも厳しさを増している昨今、100周年記念事業の一般財源における財政フレーム(上限枠)を明確にし、優先順位を付けた事業計画立案にあたっていくことが重要と考えるが見解を伺う。</p> <p>③ 国、県の補助金獲得や企業への協賛金のお願い、クラウドファンディング等、一般財源以外の財源獲得が100年に一度の記念事業の盛り上がりに影響を与えると考える。市長はことあるごとの挨拶で、この100周年記念事業を引き合いに出し、盛り上げていきたいとおっしゃってみえる。ならば、先頭に立ってプラスαの財源獲得にあたるべきと考えるが見解と意気込みを伺う。</p> <p>④ 最も重要な経営資源は職員のマンパワーであると考えて。3年後に向けて、準備が本格化する中、通常業務に100周年事業業務が上乘せされれば、慢性的な人員不足に陥る恐れがあると考えて、見解と方策を伺う。</p> <p>⑤ 100周年記念事業という事業規模を考えると、市民団体や地域団体及び市民ボランティアといった市民の参画協力が必須であると考えて、見解を伺う。</p> <p>① 記念式典や市民参加のイベント等の消費型事業も機運醸成には一定の効果があり理解を示すが、本市の未来に繋げるためには100周年が終わった翌年以降も本市にプラスの効果を残し続ける投資型事業こそが今後の市の施策を検討していく上で、重要であると考えて見解を伺う。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

7 番	朝井 賢次 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
		<p>②100周年事業に向けて、今後は市民や職員等から様々なアイデアや要望が出されてくると推察されるが、あれもこれもと手を付け実行すれば予算も職員の体力も破綻してしまう。準備段階の協議で求められることは「瀬戸市の次の100年を創るために、本当にコアな事業はどれか」を見極め、数を絞り込むことである。実施計画のプロセスにおいて選択をどのように行っていくのか伺う。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。